

ひとが賑わうまち

【基本施策2】  
産業活性化プロジェクト



⑥	事務事業名	事務事業の内容	H30年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R1年度 総事業費 (実績値)			R2年度 総事業費 (見込値)			優先順位
				事業費	人件費	事業費	人件費	事業費	人件費			
施策構成 事務事業	1	中山間地域等直接支払事業	15,800	14,190	1,610	15,904 14,928	14,224 13,318	1,680 1,610	17,683	15,373	2,310	1 5
	2	有害鳥獣捕獲事業	6,624	1,654	4,970	5,614 5,006	1,694 1,576	3,920 3,430	5,166	1,736	3,430	6 12
	3	農業振興事業	11,872	8,302	3,570	6,349 4,960	4,319 3,420	2,030 1,540	7,111	4,311	2,800	5 11
	4	天災資金・農家経営改善資金等利子補給事業	0			0 0			0			-
	5	農業者育成支援事業 (農業者戸別所得補償制度事業)	22,216	16,476	5,740	23,460 30,684	17,930 24,944	5,530 5,740	25,702	20,172	5,530	2 1
	6	農地中間管理事業	5,063	1,633	3,430	5,344 5,299	2,334 2,219	3,010 3,080	5,279	2,409	2,870	4 10
	7	活力ある高収益型園芸産地育成事業	421	421	0	15,349 11,938	14,019 11,168	1,330 770	158,661	157,401	1,260	11 7
	8	畜産総合対策事業	3,154	1,544	1,610	3,800 3,859	1,630 1,549	2,170 2,310	3,590	1,630	1,960	12 13
	9	ふくおかの畜産競争力強化対策事業	2,694	1,224	1,470	3,659 7,799	1,489 5,419	2,170 2,380	8,090	6,060	2,030	13 9
	10	水田担い手機械導入支援事業	13,534	11,644	1,890	9,679 8,182	7,859 6,222	1,820 1,960	10,863	8,203	2,660	10 8
	11	一般農業用施設整備事業	49,595	43,085	6,510	53,321 52,278	43,871 42,688	9,450 9,590	48,581	41,021	7,560	15 15
	12	法定外公共物管理事業	1,385	1,385	0	1,500 1,498	1,500 1,498	0 0	1,500	1,500	0	14 14
	13	給食センター建設関連事業	0			0 0			0			-
	14	緊急雇用創出事業	0			0 0			0			-
	15	特定防衛施設周辺整備事業	44,578	40,938	3,640	20,097 25,740	16,037 22,800	4,060 2,940	32,940	30,000	2,940	8 3
	16	土地改良施設維持管理適正化事業	20,643	16,303	4,340	31,083 15,203	28,983 13,593	2,100 1,610	43,610	42,000	1,610	9 6
	17	東九州自動車道整備事業	0			0 0			0			-
	18	再編関連訓練移転等交付金事業	25,875	22,235	3,640	87,422 77,921	85,672 75,261	1,750 2,660	20,060	17,400	2,660	7 2
	19	農村環境整備事業	24,049	19,709	4,340	50,223 37,185	47,423 33,475	2,800 3,710	51,610	47,900	3,710	3 4
	20											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦	<p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>農業を取り巻く環境は、農業従事者数の減少や高齢化に加え、耕作放棄地の増加等大変厳しい状況であります。このような状況を踏まえ、今後も農地利用集積による耕作放棄地の解消や新規就農等担い手の確保・育成を進めてまいります。また、JAや普及センター等関係機関と連携を図りながら農業者にとって収益性が高く魅力ある農業生産環境の整備を進め、農産物の生産・加工・販売を一体的に行う6次産業化や地産地消を推進し、農産物のブランド化や特産品づくりを進めてまいります。</p>
---	---

⑧	<p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>
---	----------------------------

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	水産業の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名	農林水産課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	-
	施策コード	A-2-2	シート作成者名	

①	<p>近年、国際化の進展・健康志向を背景に水産物の世界的需要は高まっていますが、多くの水産資源が減少傾向にあり、資源管理の重要性が高まっています。また、藻場・干潟の減少や磯焼けの進行、漂流・漂着ゴミの増加等により水産動植物の生育環境が悪化しており、漁業生産への悪影響が懸念される状況となっています。</p> <p>本市においてもヨシエビの中間育成、クルマエビ・ガザミの放流を行っていますが、令和2年度の漁獲量は253トンと減少傾向となっています。このため、海面・内水面を通じた生育環境の改善及び資源の管理・回復、増養殖の推進が必要です。</p> <p>漁業就業者については、資源状況の悪化、魚価の低迷といった経営環境の悪化に加え、漁港施設の老朽化など、労働環境が改善されないことから、若い漁業者を中心に減少しています。また、漁船についても高船齢化が進行しており、こうした状況が続けば将来を担う就業者の確保や漁船取得が十分には望めず、近い将来において活力が急速に低下し、漁業生産の継続が困難となる事態が予測されます。</p> <p>このため、漁港施設の老朽化・長寿命化対策を含めた水産物の安定供給基盤の整備及び安心して定住できる災害に強い漁村の整備を推進するとともに、新規就業・参入を促進し、継続的に漁業活動を担い得る漁業経営、人づくりを進めていく必要があります。</p> <p>公設卸売市場については全国的に取扱量が減少しており、本市の魚市場についても同様でありましたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の取扱量は1,140トンと大幅に減少しております。ゆえに、魚市場を流通拠点とし、産地の販売力強化と流通の効率化・高度化をさらに促進するとともに、水産物の高付加価値化を図ってまいります。</p>
	<p>② 施策の基本方針</p> <p>水産資源の回復・管理を推進するとともに、水産物の安定供給が可能となる漁業基盤の整備を推進します。また、漁業の技術・経営管理能力の向上と漁業者の育成・確保を推進するとともに、産地の販売力強化と流通の効率化・高度化や水産物の高付加価値化を推進します。</p>

③	<p>③ 施策の内容(主要施策)</p> <p>主要施策名(1) つくり育てる漁業の推進</p> <p>中間育成・種苗放流等の資源管理型漁業及び海面養殖事業を推進し、資源の増殖を図るとともに、漁場管理と漁獲量の増大に努めます。</p>
	<p>主要施策名(2) 生育環境の改善</p> <p>海域環境に応じた手法により藻場・干潟の保全及び生育環境の改善に努めます。</p>
	<p>主要施策名(3) 漁業基盤の整備</p> <p>沿岸漁業の陸揚げ拠点となる漁港の整備を進め、漁船漁業の近代化と充実を図ります。また、漁港施設の老朽化・長寿命化対策を推進します。</p>
	<p>主要施策名(4) 災害に強い漁業地域づくり</p> <p>堤防等の海岸保全施設や避難路・避難地の整備を進め、防災力の強化を図ります。</p>
	<p>主要施策名(5) 漁業就業者の育成</p> <p>漁業就業者の減少・高齢化に対応するため、定住条件の整備を図り、意欲的な新規就業者の参入を促進するとともに、担い手たる漁業者の漁業技術及び経営管理能力の向上や後継者の育成を図ります。</p>
	<p>主要施策名(6) 販売力強化と流通の効率化・高度化</p> <p>魚市場を流通拠点とし、産地と消費者とをつなぐ多様な流通経路の構築により産地の販売力強化を図るとともに、情報インフラを活用した販路拡大を推進します。</p>
	<p>主要施策名(7) 水産物の付加価値化</p> <p>豊前海一粒かき等の水産物のブランド化や活魚の出荷体制を強化し、高付加価値化を図ります。</p>

④	指標名(単位)	基準値		過年度実績			評価年度	目標値	達成度の説明 (R2年度)
		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度			
目標指標	クルマエビ・ヨシエビ・ガザミの漁獲量(t)	272	265	267	254	300	300	港勢調査によるクルマエビ：10.3t、ヨシエビ：138.7t ガザミ：104t	
	漁港施設の機能強化・機能保全計画の事業進捗率(%)	73	82	88	92	95	98	事業費/総事業費 =7,302/7,938百万円	
	公設卸売市場の取扱量(t)	1,600	1,453	1,600	1,838	1,850	1,850	新型コロナウイルスの影響により大幅に減少した。	
	新規就業者数(人)	0	0	0	0	1	1	R3年度目標値を1とする。	

上段：目標値、下段：実績値

⑤	<p>⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等</p> <p>主要施策名(1) つくり育てる漁業の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>栽培漁業としてクルマエビ・ガザミの直放、ヨシエビの種苗育成・放流、浅海増殖事業としてアサリ(親貝)の放流を行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>水産資源・漁獲量の減少や不安定な漁業経営等の現状に対応するため、今後もつくり育てる漁業である「栽培漁業」「浅海増殖」等の事業を推進し、豊前海における水産資源及び漁業経営の安定に努めてまいります。</p>
	<p>主要施策名(2) 生育環境の改善</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>海岸線に漂着した漂着物の撤去等を行い、干潟の環境保全に努めました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>ハドロ等の堆積により干潟環境の悪化の進行が懸念されている。魚介類等の育成場を提供するためにも、今後も藻場、干潟の保全及び環境改善の継続は必要である。</p>
	<p>主要施策名(3) 漁業基盤の整備</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>沓尾漁港の計画上の施設整備は、R2工事で完了。また、老朽化した漁港施設、水域施設を機能保全事業により補修工事を実施した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>老朽化した漁港施設・水域施設の保全工事を機能保全計画に則り、進めていく。</p>
	<p>主要施策名(4) 災害に強い漁業地域づくり</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>R2年度は、蓑島漁港の耐震・耐津波診断を策定した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>今後は、耐震・耐津波性能を満足していない施設について、補強等の工事を計画していく必要がある。</p>
	<p>主要施策名(5) 漁業就業者の育成</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>区画漁業権や機材のコスト等の件で弊害が生じ、実施できませんでした。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>関係機関と連携を図りながら事業が円滑にすすめるよう取り組んで参ります。</p>
	<p>主要施策名(6) 販売力強化と流通の効率化・高度化</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>販売拡大や流通経路の構築の検討を行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>行橋市魚市場もハモを「相対」での取引を行ってきたが、ほかの魚種に対しても行なっていきたいと考えています。</p>

各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(7)	水産物の付加価値化
	昨年度の事業進捗状況	
	行橋市ブランド推進委員会水産部会を立ち上げ、水産物のブランド化に向けた加工品開発の検討を行っています。また、「行橋市水産加工品開発戦略」を策定しています。	
	残された課題・今後必要な取り組み	
「夏のハモ」「冬のかき(豊前海一粒かき)」の加工品開発に取り組んでいきます。		

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	つくり育てる漁業事業	7,810	2,560	5,250	8,886 7,455	4,336 2,905	4,550 4,550	10,927	5,327	5,600	1 2
	2	水産物供給基盤機能保全事業(行橋地区)	88,250	86,150	2,100	93,950 94,790	88,000 91,290	5,950 3,500	264,493	260,083	4,410	2 1
	3	沓尾漁港整備事業(機能強化)	223,310	219,810	3,500	92,100 93,862	90,000 91,762	2,100 2,100	0	0	0	3 4
	4	稲童漁港整備事業(機能強化)	3,646	2,596	1,050	0 0	0 0	0 0	0	0	0	6 6
	5	養島漁港整備事業(機能強化)	29,126	28,076	1,050	24,100 24,036	22,000 21,936	2,100 2,100	0	0	0	5 5
	6	海岸保全施設整備事業(養島海岸)	0			0 0			0			-
	7	魚市場管理事業	13,410	9,910	3,500	21,286 20,303	16,946 15,963	4,340 4,340	19,166	12,026	7,140	4 3
	8	海岸保全施設整備事業(行橋地区)	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0	0	0	7 7
	9	漁業者育成支援事業	0			0 0			0			-
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦	<p>水産物の安定供給を図るため、今後とも、老朽化した漁港施設の整備を推進し、既存ストックの長寿命化に努めます。海岸保全施設については、津波・高潮等による被害を防止するため、防災(ハード)・減災(ソフト)に向けた取り組みを行います。また、つくり育てる漁業事業として、クルマエビ、ガザミの種苗受入、直接放流やヨシエビの種苗受入、キャンパスでの中間育成、放流を継続実施し、水産資源の確保に努めます。公設卸売市場については、新型コロナウイルスの影響により卸売高が減少していますが、今後も経費削減や販売力強化を含め経営の安定化に向けた取組みを行ってまいります。</p>
---	--

⑧	<p>水産物のブランド化や高付加価値化について、「一粒かき」は広く知られていますが、「ハモ」はまだ知名度が低いように感じる。ブランド化だけでなく「第6次産業化」により水産物の高付加価値化を推進することを検討してほしい。</p> <p>さらに、漁業体験・遊魚者との連携等、海の利活用の在り方を再検討することで商品を通して漁業者の所得向上を目指し、海岸地域のすべての資源を活用しながら、地域の活性化を図るため「行橋市海岸地域観光振興基本構想」の取組をさらに進めていただきたい。</p> <p>漁業就業者の育成について、区画漁業権の検討があると、行政からの働きかけではなかなか困難な部分もあると思うが、漁協とともに外部からの新規就業者を増加させる「漁業者育成塾」のような教育プログラムを、行政主導で検討してほしい。</p> <p>地球温暖化による海水の温度上昇など、行橋市単独ではどうしようもない問題ではあるが、生育環境の改善について、対処的な方法だけでなく、予防的な方法では検討できないものなのか。こういう取組に対しては資金を有効に使ってほしい。</p>
---	---

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	商業・サービス業の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名	商業観光課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	-
	施策コード	A-2-3	シート作成者名	

①	<p>既存の商業地域における商業集積の変化、郊外における大型商業施設の進出が継続しており、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は一層厳しくなっています。</p> <p>本市では、行橋駅東西に多くの商業・サービス施設が進出しており、特に駅西側には新たな商業核が形成されています。一方、駅東側には既存の商店街（会）が形成されていますが空洞化が進み、厳しい状況が続いています。これまでに、年間を通して集客力のあるイベントの実施など商店街（会）活性化に取り組んできました。また、各商店街（会）の現状報告や取組みを共有し、新たな活性化に向けて協議する「まちづくり勉強会」や、商店街（会）の枠を超えて個店同士が講師を招き現状や今後の取組みについて協議する「キラリ輝く繁盛店事業」、夏まつりと同日開催とした商店街（会）イベントにも取り組んできました。しかし、なかなか成果が見えてきません。</p> <p>このため、中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、人の往来を取り戻し、昼間人口、夜間人口（居住人口）共に高めるための牽引役となる施設としての図書館等複合施設整備事業や安全・安心な交通の確保とともに、将来に渡って持続可能な都市を目指す取組みの一つとして行橋停車場線都市計画道路事業に取り組んでおります。これらの取組みにより生まれる人の往来を受け止めるべき施策を商店街（会）及び地域住民と連携して積極的に取り組むことが必要です。また、各商店街特有の魅力づくりや、それぞれの個性が持つ魅力を十二分に活かし、大型店などでは求めることの出来ない人と人とのふれあいや、消費者が必要とするモノとサービスを提供できる店づくりを推進していく必要があります。</p>
②	<p>消費者がモノ・サービスを求めて、何度でも訪れたいような魅力あるまちづくりを積極的に支援していきます。また、創業者支援、経営者の経営革新の推進に努めます。</p>

③	主要施策名(1)	まちづくり勉強会の実施と魅力ある商業地域形成の推進
	商店街で勉強会を重ね、組織の連携と強化を図り、商店街が進むべき方向性を見出します。特に、行橋停車場線の拡幅や図書館等複合施設の建設を見通した魅力ある商業地形成に努めます。	
	主要施策名(2)	魅力ある商店づくりの推進
	商工会議所・中小企業診断士らと協力し、魅力ある商店づくりを推進します。	
	主要施策名(3)	創業者支援
	商工会議所相談窓口と市相談窓口の連携や創業者支援セミナー等により、創業者支援に努めます。	
	施策の内容(主要施策)	

④	指標名(単位)	基準値	過年度実績			評価年度	目標値	達成度の説明 (R2年度)
		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	まちづくり勉強会の参加延べ人数(延べ人数/年)	55	31	24	25	45	累計 206	先進的な商店街づくりの事例講習会をおこなった。
						0		
	創業相談件数(件)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	商工会議所に6件の相談があり、連携を図った。
		13	27	17	6	30	累計 132	
	創業者支援セミナー受講者数(人)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	商工会議所にて創業者支援セミナーを2回開催した。
		6	7	10	7	20	累計 73	
						10		

上段：目標値、下段：実績値

⑤	主要施策名(1)	まちづくり勉強会の実施と魅力ある商業地域形成の推進
	昨年度の事業進捗状況	
	各商店主を交えた、まちづくり会議の開催及び魅力ある商店街作りに向けた商店街事例の講習会を行い、商店主間の連携を深めるとともに、情報交換がおこなえた。	
	残された課題・今後必要な取組み	
	現在おこなっている、まちづくり勉強会等を継続しておこない、図書館等複合施設整備事業や行橋停車場線都市計画道路事業等、周辺の状況の変化に常に注視しながら、商店街の方向性について検討を重ねていく。	
	主要施策名(2)	魅力ある商店づくりの推進
	昨年度の事業進捗状況	
	魅力ある商店街づくり事業の一貫として、第2回「行橋まちゼミ」を行う予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように事業ができなかった。	
	残された課題・今後必要な取組み	
	コロナ禍でも実践できる取組としてまちゼミの理解を深めてもらい、継続して行橋まちゼミを開催することで、商店街・個店の魅力を知ってもらい、新規顧客の獲得・離店客の防止を図る。	
主要施策名(3)	創業者支援	
昨年度の事業進捗状況		
商工会議所と連携し、創業を検討する事業者の相談や創業者支援セミナーを2回開催し、創業予定者等の支援をおこなった。		
残された課題・今後必要な取組み		
商工会議所等と連携し創業相談をおこなっているが、今後は県・金融機関等のその他関係機関とも連携を深め支援していきたい。		
各主要施策の進捗状況及び課題等		
昨年度の事業進捗状況		
残された課題・今後必要な取組み		
昨年度の事業進捗状況		
残された課題・今後必要な取組み		
昨年度の事業進捗状況		
残された課題・今後必要な取組み		

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	まちづくり勉強会事業	2,530	780	1,750	2,501 1,991	751 241	1,750 1,750	2,623	873	1,750	1 1
	2	商工業対策事業	10,895	8,795	2,100	12,487 6,603	9,337 3,453	3,150 3,150	13,287	10,137	3,150	2 2
	3	イルミネーション事業	2,200	1,500	700	2,760 2,760	1,500 1,500	1,260 1,260	2,760	1,500	1,260	3 3
	4											
	5											
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦  
施策全体の今後の方針と展望

近年、郊外における大型商業施設の進出等により、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は厳しさを増している。とりわけ行橋駅東側の既存商店街は空洞化が進み、大変厳しい状況が続いている。しかしながら、東側にはリブリオ行橋や大原病院、福岡銀行など集客施設があり、行橋停車場線都市計画道路事業も行われている。そういった集客施設や事業を活用し、商店街へ人を呼び込むためには、積極的なPRなど、一層の努力が必要である。行政としては、今後もまちづくり勉強会を継続するとともに、商店街・商工会議所と一緒に将来展望について議論を進めていく必要がある。

⑧  
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	工業の振興と企業誘致の推進			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	企業立地課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	-
	施策コード	A-2-4	シート作成者名	

①	<p>福岡県の北東部に位置する京築地域は、日産自動車九州をはじめ、トヨタ自動車九州、ダイハツ九州に加え日産車体九州の立地により、年間生産台数150万台を超える、国内有数の自動車産業拠点として発展しました。この地域における自動車の開発から生産までを一貫して担う自動車産業拠点地域として更なる発展が期待され、大手自動車産業への部品等の供給を行う二次サプライ企業等、今後、自動車関連企業の集積が一層進むものと考えられます。また、この地域は安川電機をはじめとした電気産業等の集積地でもあり、こうした地域の特性と東九州自動車道の開通により、陸・海・空全てのインフラが整備されたことによる強みがあります。これに加え、国産初の小型旅客機三菱スペースジェット生産に伴い、北九州空港周辺での航空産業進出が取り沙汰されています。稲童工業団地は完売しましたが、工業団地の拡張や民有地の活用を行い、今後もインフラの強み、自動車産業にかかる技術レベルの高さを積極的にアピールし、企業誘致活動を行っていく必要があります。</p> <p>地元の自動車関連企業で組織する「行橋市自動車産業振興協議会」において、技術支援や経営改善、協働研究、産学官連携事業など一定の成果が上がっており、今後も受注の拡大、新規参入を積極的に推進していく必要があります。</p> <p>しかし、自動車関連企業の集積は進むものの、雇用情勢は依然厳しい状況です。本市を活性化し賑わいあるまちづくりを行うには、若者世代に定住してもらう必要があることから、企業誘致による雇用創出をはじめ、総合的な雇用機会の創出に引き続き取り組む必要があります。</p>
②	<p>地域の特性と強みを最大限に生かした企業誘致を積極的に行うとともに、産学官の連携などによる中小企業の生産力・技術力・開発力の更なる向上のための支援体制を強化し、安定した雇用機会の創出に取り組むことで、本市の活性化を図り、賑わいのあるまちになるよう若者世代が定住する仕組みづくりを行います。</p>

③	<p><b>主要施策名(1)</b> 企業誘致の推進</p> <p>自動車関連企業を中心に、また近い将来、北九州空港周辺地域を中心とした航空産業関連企業の誘致を推進します。併せて、稲童工業団地の拡張や民有地の活用に努め、陸・海・空のインフラ整備の強みのPRや優遇制度等の支援体制の拡充を図ります。また、製造業に限らず、企業の開発・研究部門やIT企業等の誘致活動を推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(2)</b> 産学官の連携強化</p> <p>「行橋市自動車産業振興協議会」を中心に、西日本工業大学や福岡県中小企業振興センターなどとの連携を図り、技術支援、経営改善、共同研究などを積極的に推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(3)</b> 雇用対策の推進</p> <p>企業誘致による雇用創出に努めるとともに、国や県との連携による総合的な雇用対策に取り組みます。</p>

④	指標名(単位)	基準値	過年度実績			評価年度	目標値	達成度の説明 (R2年度)
			H27年度	H29年度	H30年度			
目標指標	新規誘致企業数(社)	1	0	1	0	1	累計3	福岡県企業立地課と連携をとりながら、自動車関連企業を中心に誘致活動を行ってきた結果、1社(㈱ロジコム)と立地協定を締結し、目標値である累計3社を達成した。
	工業団地新規造成面積(ha)	0	0	0	0	2	累計1.7	稲童工業団地の拡張を検討中。
	稲童工業団地に勤務する従業員数(人)	854	1,311	1,471	1,161	1,500	1,500	1,171

上段：目標値、下段：実績値

⑤	<p><b>主要施策名(1)</b> 企業誘致の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>北部九州は国内における自動車生産拠点として重要な地域であり、陸・海・空全てのインフラが整備されたことによる強みを生かし、今後とも更なる発展が期待されることから、自動車関連企業を中心に製造業全般において誘致活動を行った。稲童工業団地は完売したため、工業団地の拡張の検討と民有地の活用を平行して行った結果、民有地に1社誘致することに成功した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>民有地の活用による企業誘致活動と同時に、企業ニーズの把握に努めながら工業団地の拡張を検討する。</p>
	<p><b>主要施策名(2)</b> 産学官の連携強化</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>地元の自動車関連企業で組織する「行橋市自動車産業振興協議会」において、地元大学において業界研究セミナー・学内合同企業説明会等の実施や学生による企業の工場見学を実施する予定であったが、コロナ禍により、いずれも実現しなかった。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>「地域に根ざした企業に地元学生の就職を」という視点で、地元の高校・大学と連携を図り、行橋市に生産拠点のある企業による学内説明会などを継続して実施する。</p>
	<p><b>雇用対策の推進</b></p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>福岡県が実施する各種就労支援事業と連携を図るとともに、合同就職説明会を開催し、地場企業の求人情報を提供するなど総合的な雇用対策を実施した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>引き続き、福岡県が実施する各種就労支援事業と連携を図るとともに、市独自の合同就職説明会の開催や関係機関と連携し、一人でも多くの雇用創出に努める。</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取り組み</p>

各主要施策の進捗状況及び課題等

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	サンワークゆくはし管理事業	15,407	14,567	840	15,966 15,882	15,126 15,042	840 840	17,634	16,794	840	6 6
	2	労働福祉・雇用推進事業	1,041	131	910	1,077 1,343	167 153	910 1,190	1,076	166	910	4 4
	3	緊急雇用創出事業	0			0 0			0			
	4	企業立地事業	6,741	1,141	5,600	6,947 6,076	1,347 196	5,600 5,880	7,010	1,410	5,600	1 1
	5	工業団地整備事業	4,069	1,269	2,800	3,800 3,540	1,000 740	2,800 2,800	3,900	1,100	2,800	2 2
	6	工業振興事業	3,703	203	3,500	4,693 4,577	1,193 1,077	3,500 3,500	4,722	1,222	3,500	3 3
	7	企業立地交付金交付事業	15,052	14,702	350	116,020 116,920	115,670 116,570	350 350	6,350	6,000	350	5 5
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値  
下段：実績値

⑦  
施策全体の今後の方針と展望

稲童工業団地は完売しましたが、今後も稲童工業団地の拡張や民有地を活用することで新規企業の誘致活動を積極的に行いたいと考えています。  
雇用については、「行橋市自動車産業振興協議会」を中心に産学官の連携を強化し、地域活性化、地方創生を推進するため、この地域に若い世代の雇用創出を図ります。また、市独自の合同就職説明会の開催や関係機関と連携を図り、一人でも多くの雇用創出に努めて行きたいと思っております。

⑧  
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	観光の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	商業観光課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	総合政策課・文化課・スポーツ振興課
	施策コード	A-2-5	シート作成者名	

① 施策の現状と課題	<p>本市における観光の位置づけとしては、観光による集客を図ることで特産品・中間製造業者の所得向上による雇用の創出が人口流出の歯止めとなり、本市の地方創生に繋がるとともに、地域住民の活動を促す重要な施策の一つと捉えています。また「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、海岸地域などの地域資源を活かした交流拠点の形成を図ることや、情報発信に努めることが基本目標となっています。地域の魅力を再発見し、広く市内外にPRする活動を通して、行橋市の認知度の向上や、郷土愛を醸成し地域に根付いた活動の継続が積極的な定住につながる要素にもなることと考えられます。また、これからの観光は地域がプロデュースして、従来観光資源としては気付かれていなかったような地域固有の資源を新たに活用し、体験型・交流型の要素を取り入れた旅行の形態が求められています。地域の特性を活かしやすいことから、地域活性化にもつながるものと期待されます。</p> <p>本市には、今川河畔の桜、潮干狩り、海水浴場、新田原の果樹園、国指定史跡の御所ヶ谷神籠石や滝体塚など多くの観光資源があります。これまでこれらの観光資源を生かした取組みとして、今川河畔の桜ライトアップ及び桜ウォーク、ビーチバレーやビーチサッカーなどの海水浴場でのスポーツイベントの開催などを行い、観光客を誘致してきました。</p> <p>さらに、北九州空港、JR行橋駅に加え、東九州自動車道等の交通アクセスの利便性を最大限に活用することも必要となります。一方、特産品においては「行橋市地域ブランド推進計画」に基づいていちじくや桃、豊前海一粒かきなどの特産品について、生産者と協力しながら新商品の開発に取り組み、広くPRすることとしています。併せて、「行橋市海岸地域観光振興基本構想」の主眼である、「食べる」・「観る」・「遊ぶ」・「学ぶ」を兼ね備えた観光拠点の整備が課題でありましたが、令和2年7月に「行橋市長井浜公園」の指定管理がスタートし、新たな観光施策の展開が期待できるようになりました。</p> <p>また、組織強化を図る観光協会を観光事業実施の重要な核として、引き続き支援を行いながら自立した組織運営を促すことも必要です。さらなる観光資源の掘起こしや観光案内板の整備、情報提供の充実がこれからの課題です。加えて、多様化する観光客のニーズに対応するために、さらには外国からの観光客誘致も視野に入れ、近隣自治体と連携した広域による観光開発の取組みとネットワークづくりも必要となってきます。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p><b>主要施策名(1)</b> 情報提供の充実</p> <p>観光PRポータルサイトやSNSの利用、パンフレット配布、イベントへの参加など、様々な媒体を戦略的に活用して積極的な情報発信を図ります。また、国内外で行橋市の知名度を高めるための事業に取り組みます。</p>
	<p><b>主要施策名(2)</b> 観光案内板の整備</p> <p>マイカーで観光地を訪れる人や外国からの観光客を目的地へ分かりやすく誘導するために、外国語併記の案内板を設置します。また、説明看板が古くなっているところは改修を行い、未整備の箇所については設置を進めます。</p>
	<p><b>主要施策名(3)</b> 広域観光事業の推進</p> <p>近隣自治体と連携しながら、広域的な観光ネットワークに取り組み、雑誌や報道機関などの広報媒体や大手旅行代理店等を活用しながら観光客の誘致につなげます。</p>
	<p><b>主要施策名(4)</b> 特産品の開発</p> <p>関係事業者の連携を促し、市の特色を生かした特産品開発に取り組み、その普及に努めます。</p>
	<p><b>主要施策名(5)</b> スポーツイベント事業の推進</p> <p>海岸地域などの観光資源を活かしたスポーツイベントを実施し、行橋市のPRを行い、観光客の誘致につなげます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績				評価年度	目標値	達成度の説明 (R2年度)
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度			
	観光入込客数(万人)	26	27	28	28	30	20	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、多くのイベントが中止となり、またステイホームの影響もあり、大きく減少しました。(中間測定値)	
	観光PRポータルサイトアクセス数(件)	-	56,000	77,000	110,000	115,000	120,000	イベント情報等、旬な情報を発信するよう心がけ、アクセス数の向上を図りました。	
	観光案内板整備(改修)数(箇所)	98	12	2	0	5	累計118	既存看板の点検及び今後に向けた協議を行い、4ヶ所の改修を行いました。	
	特産品開発数(種類)	7	1	0	1	2	累計12	開発した特産品のPRを行い、販売数を増加させる取り組みを行いました。	

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	<p><b>主要施策名(1)</b> 情報提供の充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>観光ポータルサイトを中心に、各種イベント情報等の発信を行うとともに、行橋市観光パンフレット、海岸地域観光パンフレットの改訂を行いました。また、市内外で行われたイベントに参加し、パンフレット、観光PRムービーを活用し、行橋市のPRを行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>観光ポータルサイトのアクセス数等の分析を行い、より観光客のニーズにあった情報発信を行っていくことが課題です。また、パンフレット等の情報媒体の有効活用を行い、さらなる知名度の向上を図ることが必要であると考えます。</p>
	<p><b>主要施策名(2)</b> 観光案内板の整備</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>既存看板の点検を行うとともに、4ヶ所の改修を実施しました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>今後についても、未整備箇所の設置をすすめ、老朽箇所の改修を行います。</p>
	<p><b>主要施策名(3)</b> 広域観光事業の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>東九州道の今川PA内にパンフレットブースを設置し、2市2町(行橋市・豊前市・築上町・みやこ町)のPRを年度を通じて行いました。また、2市2町の観光スポットや特産品を紹介したリーフレットを作成しました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>多様化する観光ニーズに対応するため、近隣自治体との広域ネットワーク形成を、より一層前進させるよう取り組みます。京築地域の強みを生かした、広域的な視点で観光コンテンツの磨き上げを行い、情報共有・交流を加速することが必要だと考えます。</p>
	<p><b>主要施策名(4)</b> 特産品の開発</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>今後の特産品開発に向けて協議を継続して行いましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、事業者による開発に係る先行投資が難しい状況があり、新規商品を開発することができませんでした。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>新規の開発が難しい状況下では、特産品の知名度を上げ、販路の拡大を行うことを最優先課題として捉えています。</p>
	<p><b>主要施策名(5)</b> スポーツイベント事業の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>行橋市長井浜で開催予定であった「ゆくはしビーチバレーボールフェスティバル2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止いたしました。また、長寿大橋を渡る海岸線をコースとした「ゆくはしシーサイドハーフマラソン2021」も、市内外から多くのランナー・スタッフの参加が見込まれるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止いたしました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>PR活動について、市報やポスター等従来の宣伝活動に加え、積極的なSNSを利用した宣伝活動を市広報係と連携し、行うことが必要である。また、イベント開催時の新型コロナウイルス感染症の対策や中止した場合の代替企画を立案し実行することが課題だと考えます。</p>

6	事務事業名	事務事業の内容	R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	特産品開発事業	4,110	540	3,570	4,650 2,240	1,500 0	3,150 2,240	2,100	0	2,100	3 3
	2	観光地環境整備事業	2,966	2,056	910	3,792 2,881	2,742 1,831	1,050 1,050	4,842	2,742	2,100	4 4
	3	行橋市観光協会事業	18,630	11,280	7,350	13,760 13,760	6,760 6,760	7,000 7,000	16,302	11,752	4,550	1 1
	4	行橋市観光物産情報コーナー運営事業 削除	0			0 0			0	0	0	
	5	今川河畔ライトアップ事業	1,060	850	210	1,270 1,270	850 850	420 420	1,270	850	420	5 5
	6	観光用トイレ改修等事業	0	0	0	6,351 6,413	2,851 2,563	3,500 3,850	-	-	-	7 -
	7	北九州空港地域PR事業	2,707	2,077	630	2,738 2,734	2,108 2,104	630 630	2,738	2,108	630	6 6
	8	海岸地域観光振興事業	9,401	5,901	3,500	7,400 12,676	6,000 538	1,400 12,138	24,994	10,294	14,700	2 2
	9	サイクルツーリズム推進事業	0	0	0	0 910	0	910	2,155	755	1,400	9
	10	観光トイレ管理事業	4,230	2,480	1,750	0 3,553	1,803	1,750	3,969	2,219	1,750	8
	11	観光PR事業	3,313	723	2,590	0 2,207	107	2,100	7,626	3,776	3,850	7
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値  
下段：実績値

7  
施策全体の今後の方針と展望

行橋市内の自然や特産品、文化財などの資源を市の観光資源として活用を図り、計画的に整備を行います。特に海岸地域の観光振興に重点的に取り組んでおり、既存資源を活かした地域の新たなブランド作り、話題作り、他地域と差別化できる取り組みを継続的に実施していきます。今後、本市の観光動向実態調査結果の活用、観光事業に関わる人材育成事業を実施し、戦略的な観光事業の推進を図るとともに、行橋市観光協会、周辺地域と連携しながら広域的な観光事業を視野に入れた組織作りに取り組みます。また、さらなる観光客の誘客を目指し、観光情報ポータルサイトの活用やイベントの開催などを通して、広く本市のPRを実施するとともに、周遊ルートの整備も進めていきます。令和3年度からは、福岡県の宿泊税を財源とした観光施策を展開していくこととしており、観光パンフレットの新規作成やサイクルツーリズムに関する拠点整備等の事業に取り組みながら、本市及びこの京築地域の観光誘客につなげていきたいと考えております。

8  
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等